



WEB再録版





**ご注意**  
システムのとんでも設定、過度の性表現  
(結腸攻め、ハートあえぎ、潮吹き、メス堕ち)  
なんでも許せる人向けです。



兄者...



兄者

木

木









この傷から  
戦で穢れを  
もらったの？

そんな  
へまはせん

では戦で  
気が昂った  
のかな



膝丸だ  
兄者

我慢できな  
かったのかい？



……わるい子

ワス……



我慢できぬ……

もうくれ……



上手になつたなあ



ゆたの

ん...



兄者も動いてくれ

兄者...



ほっ

あっ  
ああっ







僕の弟は  
淫乱だ



元から  
こうであつた  
わけではない



そのほとんどを  
離れ離れで  
過ごした

二つで一つと  
数える武器

二振一具として  
共に打たれて  
千年あまり



半身同然の存在が  
こうしてまた  
一つ屋根の下で  
逢えたのだ

一目見て  
僕たちは  
惹かれ合った



ともかく  
肉体を得て

こうなることは  
とても自然な  
ことだった







……  
まあでも

普段怜悯な  
お前がこんな  
好色だなんて

この本丸の子達も  
信じられない  
だろうね

……どうした  
急に



好色……？  
すっかりそう  
なっていたのか……



不満か？

まさか

もうおやすみ  
疲れたろう

明日は  
手入れ部屋へ  
行くんだよ



いつから……  
もう  
思い出せ  
ないな……

はじめの頃……



どんな風に  
抱かれて  
いただけるうか……



弟さん  
お八つを  
貰ったよ

一緒に……  
ありや？

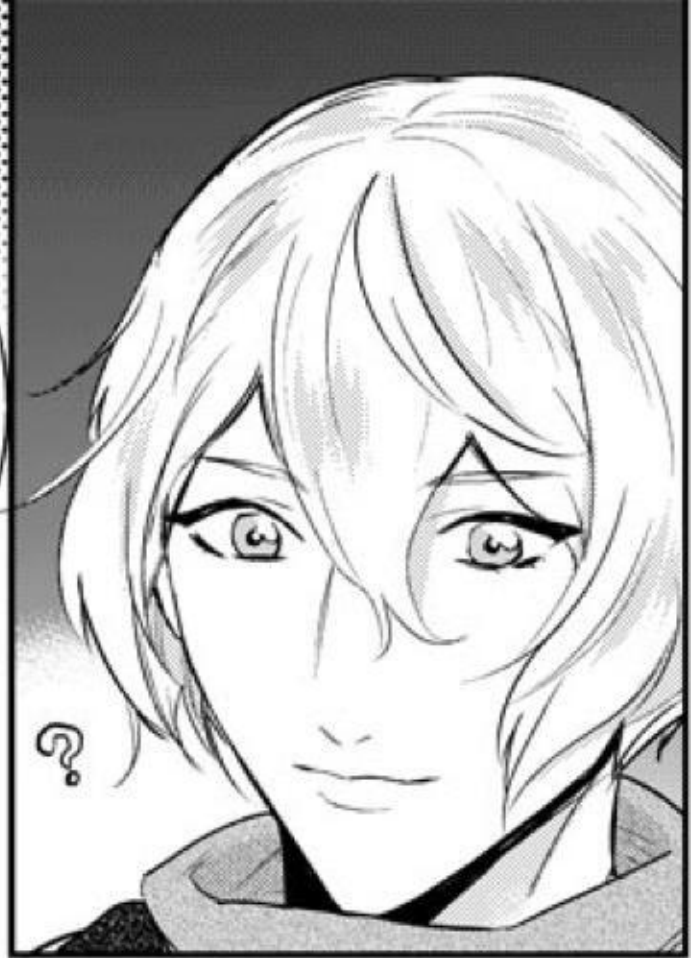
す……

そうか  
手入れ部屋  
だった

もう  
終わっていても  
いい頃なのに……







ええつと…  
僕の弟だよ

ほ  
ア…

もちろんだ  
兄者…!

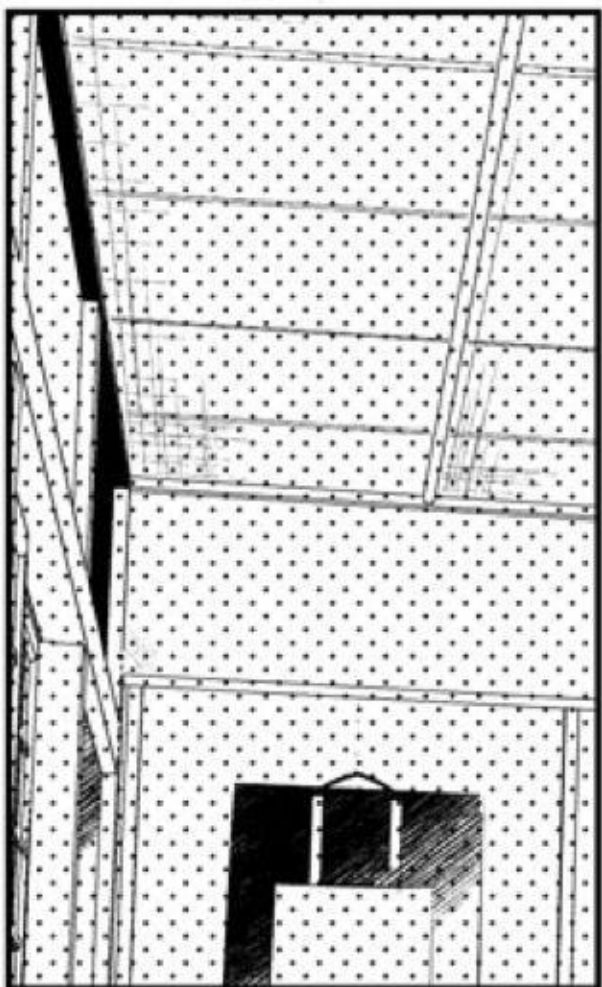
ああ…  
そういう意味  
ではなくてね



ああ  
あなたの  
膝丸だ

今顕現した  
膝丸って  
わけじゃない

少々ややこしい  
ことになって  
おります…!



説明  
いたします  
ので奥へ…!

うーん?





弟の  
記憶が  
飛んだ？

はい……！

膝丸殿の  
手入れの際バグで  
記憶がデフォルトに  
戻ってしまいました



でほんと？

顕現するまでの  
刀としての記憶  
です！

つまり膝丸殿は  
この本丸で  
過ごした記憶を  
失っております



そんな……  
元に戻るのかい  
？

はい！  
それは  
もちろん！



珍しいことであるため収集に時間がかかっています

事故である可能性が高いため原因の調査も入りま



政府のログってカラクリでもとに戻るらしい

だが少々時間がかかるらしくてな



原因…？

はい…！

少し細かい話になるのですが

手入れとは体の修復後に心を…記憶を移す作業をいたします



心とは不思議なもので通常のデータと違い

霊的な作用で不具合が起こる場合がございます



例えはですが  
今回のバグ

膝丸殿の迷いが  
引き寄せた可能性も  
……

迷い……

とはいえ  
心とは本来  
不安定な  
ものです

膝丸殿の  
責任では  
ありません！

明日には  
目処が立っ  
たりする

本丸で  
普通にしとら  
てくれ

カタ







いや…  
俺の兄者は

なんと  
お優しく強く  
おられるのか



どうかした  
かい？



兄者…

？



そうか  
この反応…

この子からしたら  
僕は初対面…

いいや千年ぶりの  
再会ということか



感極まって  
しまった…！

……



これは……！

兄者と俺は  
同室なのだな  
……！

うん  
元は二間  
だったのだけど  
何かと都合が  
いいからね

都合？

ええつと  
一緒に寝起きしたり  
着替えたり

僕たち朝は  
弱くてねえ



嬉し泣きだ……！

おや  
震えて……

大丈夫かい？

俺と兄者は  
仲の良い  
兄弟なのだな



そうだ  
お八つを  
忘れていたよ

一緒に食べたくて  
お前を呼びに  
行ったんだ  
たべよう

兄者……





ふふ  
感謝だなんて

お前が大事な  
弟なのは  
当たり前のことだよ



兄者からしたら  
おかしい事かも  
しれぬが...

おお...



俺は兄者に  
改めて感謝  
申し上げたい



きゅ...  
う...



し...尻から  
流れて...?

な...何か  
俺は...  
粗相を...?



じわ

...?  
どうか  
したかい?



ひっ...



兄者はなんて  
素晴らしいの...  
さすが惣領の...



それ昨日僕が出した子種かも！

ああ！

？？

きききききき聞きたく無い

それでお前のお尻に僕の…

え？ああ！僕たちまぐあう仲なんだよね

こた…ね？

兄者が出した…？

お尻

ぶる

俺の尻に兄者の子種が…？



きゅん

わが  
兄者と  
俺が…？

わが  
…？  
聞と共に

そんな不埒な  
関係だと!?

不埒って  
そんな

すまぬ  
兄者!!!

え…？

この本丸に顕現して  
何があったかは  
わからぬが

俺が兄者を  
そそのかし  
過ちを犯したに  
違いない…!!



……待って  
僕の弟をそんな風に  
言うのは許せないな……

そうでなければ……  
お慕いし尊敬する  
兄者にこのような……

……黙って



……  
垂れてくるの？

いっばい  
出しちゃった  
ものね

カアッ

うう……

ト……



おいで  
放っておくと  
お腹を壊してしまうよ

掻き出して  
あげる

そんなこと兄者に  
させられぬ……  
自分で……

内風呂の勝手も  
わかりでしょ

来なさい

くる







そんな風に  
言われたら

僕だって  
傷付いてしまうぢや



こうなって  
しまったことを  
後悔しているって…？



おや…

んふう…



んん…

んん…



そんなはず無い  
確証なんてどこにも  
無いのだから  
……

んん

んんん…



これは  
感じてしまっ  
ている…？

んんん





クズ

んん…

そういえば  
身なりは特二の  
ままだった

ま…

へえ…

んふう…

まだなのか…?

記憶は失くしても  
身体は元の  
ままということか

むい

んん

んん

んん



開発された  
ままの身体…

僕の  
可愛い可愛い  
弟

こころ  
好きだよね

アア…

あ、あ…

お前の迷いが  
僕との関係である  
はずがない

んん

んん

んん



おやおや  
可愛い声が  
出てしまうね

ひあっ

こころも  
ツンとさせて  
可哀想に



そんなところ…  
触らすとも

んひっ

意地が…  
悪いぞ……!



ねえ  
体に聞いて  
みようか

そうかい？  
とっっても悦さ  
そうだけど

……？





お前の迷い

体は覚えて  
いるかも  
しれないよ?

な  
何を言っ  
て  
る...?

僕たちのことを  
過ちだなんて  
言われたんだもの

少し  
お仕置きしても  
いいよね...?



気持ちいい?

ああっ

気持ち...  
よくなんか...っ

ふふ  
人の子はね

気持ちいところが  
反応して  
しまうんだよ

ああう  
やめ  
そこ





さ  
触るの  
ヤ...メ

こんな  
なつちやったら

出した方が  
楽になるよ



あああ...  
んっ



あっああ  
ああ

可愛くて  
素直な反応

抵抗の仕方  
も知らないんだ

体は熟れてるのに  
快楽をいなす術を  
知らない







まるで、  
赤子の手を  
なんとかだなあ…

ワス

ぬちゅあ…

ドゥ  
ドゥ



挿れたら  
とろとろで  
僕もお前も  
気持ちいい  
だろうなあ



掻き出しても  
昨日の僕のが  
まだ残ってるね

嘘だ…!

そん…な



気をやったのに  
ここ…  
もの欲しそうに  
くぼくぼしてる…

しゅ…



ねえ挿れていい?

おゆ...

お許し  
くらね...



そんなこと  
言って

腰  
揺れちゃってる  
もの...



欲しいでしょ?

グッ  
グッ









ここを突いたら  
さすがにお前も  
...素直ないい子に  
なるかなあ

や...  
も...許し

ほろろ

ほろろ

グッ  
グッ

あにちや...  
お願い  
だ...

だーめ♡

カッ

カッ  
カッ  
カッ  
カッ  
カッ  
カッ









息を吸って

はあ

あー

ゆる

ゆる

ゆる

あー

もーっと  
気持ちよくして  
あげる

ここは僕の  
形だよーって  
思い出して  
もらわないと

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー



アア

あー

あー









僕のこと  
好き？

あっ

いつもは  
素直に言って  
くれるんだよ



ねえ…

ア

あ



好き…

ふふ  
可愛い…

気持ちいい？



すね

はい



さあ

あ





あに者...

ああっ

くださ...

はは...

ん...

僕もまた  
イきそう

きゅん...  
きゅん...  
きゅん...

こたね

ほし...

ああ...

うん...

あげるね...

あ...



ありやあ...

掻き出すつもりが  
こんなことに.....

まあいいか

弟の可愛いところも  
見られたことだし.....

おは...おは...

おは...おは...

んんんん





すまぬ兄者!



ほどなくして  
弟の記憶は  
元に戻った



記憶が無かった  
とはいえ兄者に  
無礼なことを  
言ってしまった

まあまあ

こうして  
元に戻った  
んだし

フイニエヤても  
あげようよ



記憶を失った  
理由も事故って  
事だしね



だが……!

それに  
初にお前は  
可愛かったし  
カエクス



自分もこころ好色となってしまうて思うのだ



うん？

そ  
そのことだが  
兄者よ



ええ…？

……  
兄者はもしや  
初い俺の方が  
好みなのではないか？



過ちとは  
思わぬが！

この本丸で  
俺は別人のように  
なってしまうた  
のではないか…？



ここへ来た頃の  
俺と今では

随分変わって  
しまったと…



兄者は  
こんな俺を…  
間違ったとは  
思わぬか？

そんな迷いが  
今回のバグを  
引き起こしたの  
やもしれぬ…

あはははは

記憶が戻っても  
そんなことを  
言い出すのかい？

フフ

フフ

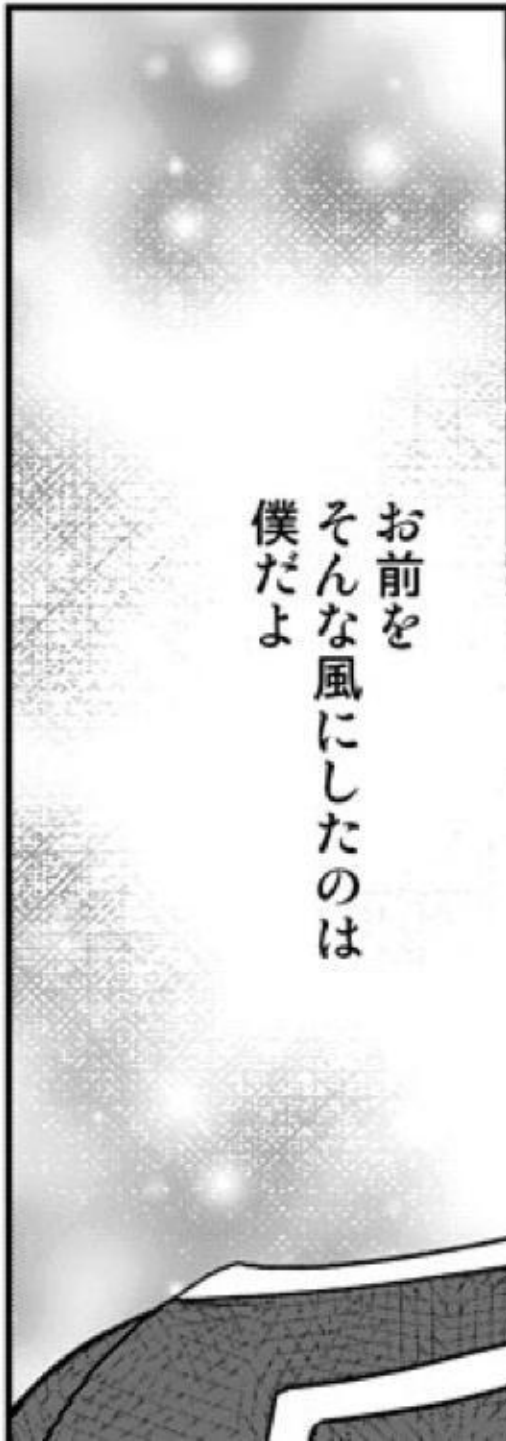
そんなに  
笑うとはひどいぞ  
兄者よ…

あのね…

よくお聞き







お前を  
そんな風にしたのは  
僕だよ

兄者！

アハ

それも…  
そうだな

end. 2019.5